

令和元年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: 共助社会づくり課

担当名: 担い手支援担当

内線: 2817

(単位: 千円)

番号	事業名		会計	款	項	目	説明事業	
B4	アクティブシニアの社会参加支援事業		一般会計	総務費	県民費	県民活動推進費	共助による地域のきずなづくり推進費	
事業期間	平成28年度～ 令和2年度	根拠法令				宣言項目	05 シニアの活躍推進	
						分野施策	061454 多様な主体による地域社会づくり	
1 事業の概要			5 事業説明					
<p>かつては現役世代3人で高齢者1人を支える「騎馬戦型社会」であったが、超高齢社会に入り、今後は現役世代1人が1人の高齢者を支える「肩車型社会」になると言われている。</p> <p>そこで、シニアが豊かな知識を活用して、地域で生き生きと活躍していただくための取組を支援する。</p> <p>(1) アクティブシニアの社会参加支援事業 △5,513千円</p> <p>(2) シニアボランティア養成事業 △0千円</p>			<p>(1) 事業内容</p> <p>ア アクティブシニアの社会参加支援事業 25,947千円 (当初 31,460千円)</p> <p>イ シニアボランティア養成事業 3,899千円</p> <p>(2) 事業計画</p> <p>ア アクティブシニアの社会参加支援事業補助金(3,000千円×10市町村) 以下のメニューの中から選択し、先駆的な取組を実施する市町村に補助を行う (ア) 市町村の計画性や創意工夫が認められる、地域活動や就労などの地域に飛び出すきっかけづくりに資する事業 (イ) 地域活動を支援する機関の保有する情報の共有化など、ネットワーク化に資する事業 (ウ) 地域の特性を踏まえて実施する地域活動、就労等シニアの活躍支援に資する事業</p> <p>イ シニアボランティア養成事業 県民活動総合センター指定管理者に委託して、共助の担い手の養成から活動のマッチングまでを含めた内容のボランティア講座を行う</p> <p>(3) 事業効果 共助の担い手として地域を支える側となるシニアが増加し、地域の活力が向上する。</p> <p>(4) 県民・民間活力、職員のマンパワー、他団体との連携状況 事業の実施に当たっては、地域で活動する団体や市民活動サポートセンター等と連携する。</p> <p>(5) その他(前年との変更点) ・補助対象市町村の縮小(H30 17市町村→H31 10市町村)</p> <p>(6) 補正予算の概要</p> <p>ア 補助金が当初の見込みを下回ったことによる減額</p> <p>イ 事務費の節減による減額</p>					
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)								
3 地方財政措置の状況 なし								
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×1.2人=11,400千円								
予算額			財 源 内 訳				一般財源	補正後の 予算額
決定額	△5,513						△5,513	29,846
現計額	35,359						35,359	